



学校だより

日野南小学校ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/hinominami/>

令和5年1月31日

2月号

横浜市立日野南小学校

まちとともに迎える春

副校長 小野 由紀

新しい年を迎え、早いもので一ヶ月が過ぎようとしています。令和5年の干支は、卯（うさぎ）です。本校では、ショコラというオスのうさぎを飼っています。推定8歳、人間の年齢でいうと高齢のうさぎです。飼育委員会を中心に、えさやりなどのお世話をしながら、大切に育てています。



明日から2月になり、暦の上では春を迎えます。子どもたちは、各学年ともに、新たなスタートを迎える次年度に向けて、これまでを振り返りながら、まとめの学習や活動に取り組んでいるところです。

副校長として本校に着任にして3年。振り返りますと、令和2年より、新型コロナウイルスの感染の影響の中であり、感染症への対応により、私たちの生活において様々なことが制限されてきました。しかし、その間子どもたちの教育活動を止めないために、保護者、地域の皆様とともに、教職員一同試行錯誤を繰り返しながら進んでまいりました。感染拡大防止の日々が現在も続いておりますが、今年度は、宿泊体験学習の実施など、以前のようにできる行事が増えてきました。地域では、スポーツフェスタやアート展が開催され、1月14日（土）には、3年ぶりに地域合同お楽しみ会も再開することができました。

地域合同お楽しみ会は、令和元年までの毎年、新年最初の行事として、21回の歴史を重ねてきた会です。コロナ禍によりやむを得ず、ここ2年間は中止となっていましたが、再開に向け、感染防止対策や今後も持続可能な開催の形式について、PTAと地域で構成される「地域合同お楽しみ会実行委員会」で議論を重ねてきました。結果、イベントのスリム化を行い時間短縮をすることや、会場内の飲食を自粛し、屋外での活動をメインにすることとなりました。学校からは、4クラスが総合的な学習で学んだことを生かしたイベントで参加しました。当日は、残念ながら天候不順により、体育館棟での活動になりましたが、日野南中学校吹奏楽部による演奏や6年2組のソーラン節から盛大に始まり、6年1組と2組の遊びや4年1組の体験、おやじの会によるドローンショーなどで盛り上がり、5年2組のお惣菜やそよかぜ南の家のパンなど、各種販売には長い列ができました。後半には小雨になり、校庭でどんと焼きやフィナーレの花火を行うことができました。約500名の児童や保護者、地域の方がともに楽しい時間を過ごす会となりましたこと、計画や準備等に携わったすべての皆様方のおかげです。ありがとうございました。改めて、地域と学校が協働することの大切さや、子どもたちとまちの人々がかかわる機会をもつことの価値に気づくとともに、日野南のまちのあたたかさや素晴らしさを実感いたしました。

日野南小学校では、「まちの人とのかかわりを大切にし、豊かな体験を通してまちを愛する心を育てること」を目指しています。子どもたちは、日々の教育活動の中で、本当にたくさんの方々を支えていただき幸せです。一人ひとりが安心して、充実した学校生活を送ることができるようご支援をいただいていますことを、心より感謝申し上げます。子どもたちの健やかな成長のための歩みを止めずに、まちとともに春を迎えることができるよう、引き続き、皆様の温かいご理解とご協力、ご支援をどうぞよろしく願いいたします。